

2024年12月12日

各 位

公益財団法人全国銀行学術研究振興財団

第31回全国銀行学術研究振興財団賞および  
2024年度研究・刊行に対する助成の決定について

公益財団法人全国銀行学術研究振興財団(理事長:福留朗裕三井住友銀行頭取)は、選考委員会および理事会における審査を経て、次のとおり、本年度の全国銀行学術研究振興財団賞および研究・刊行に対する助成を決定いたしました(詳細は別紙参照)。

1. 第31回全国銀行学術研究振興財団賞  
藤原一平氏(慶應義塾大学経済学部教授)

2. 研究・刊行に対する助成

本年度は52件の助成申請を受け、うち41件に対して総額2,898万円を助成します。

設立から本年度までの助成等実績は以下のとおりです。

・研究助成	1,302件	8億6,828万円
・刊行助成	116件	1億3,545万円
・表彰	31件	3,100万円
(合計)	1,449件	10億3,473万円

\* 全国銀行学術研究振興財団は、銀行界の社会貢献活動として、経済・金融およびこれらに関する法制に係る研究の助成等を行い、もって学術研究の発展に寄与することを目的に、1992年(平成4年)3月に全国の銀行が資金を出捐して設立された財団法人で、全国の大学の研究者を対象に助成等を行っています。

以 上

照会先 事務局 (03-6267-7336)

第 31 回 (2024 年度) 全国銀行学術研究振興財団賞  
< 経済分野 >

藤原 一平 慶應義塾大学経済学部教授

〔表彰理由〕

マクロ金融経済学の研究、特にゼロ金利制約や金融のグローバル化に関する研究で大きな貢献があり、海外のトップジャーナルに多数の論文が掲載されるなど、その顕著な業績は高い評価を得ている。

〔賞 金〕

100 万円

〔主要論文〕

「A Technology-Gap Model of 'Premature' Deindustrialization」  
American Economic Review (2024 年、共著)

「Foreign Exchange Reserves as a Tool for Capital Account Management in a Small Open Economy」  
Journal of Monetary Economics (2021 年、共著)

「Optimal Monetary Policy in Open Economies Revisited」  
Journal of International Economics (2017 年、共著)

「Optimal Monetary Policy with Endogenous Entry and Product Variety」  
Journal of Monetary Economics (2014 年、共著)

「Global Liquidity Trap」  
Journal of Monetary Economics (2013 年、共著)

以 上

## 2024年度 助成対象者

◇助成合計〔41件：2,898万円〕

(1) 研究活動に対する助成〔38件：2,563万円〕

①経済分野〔32件：2,148万円〕

(金額：万円、50音順)

研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
安達剛	早稲田大学政治経済学術院准教授	参加型予算のメカニズムデザイン	50	
伊藤嘉浩	東洋大学国際観光学部教授	巨大ITプラットフォームによるエンベロープ攻撃に対する防衛のマネジメントと独占禁止法規制への提言	50	
井上武	神戸大学大学院国際協力研究科准教授	銀行収益性に対する金融包摂の影響：インドの事例	40	
上野学	金沢学院大学経済学部経営学科准教授	監査報酬の構造的変化に関する研究	50	
WEN, Min-Ming	一橋大学大学院経営管理研究科教授	メインバンク関係と企業のESGパフォーマンス	105	安田行宏 一橋大学大学院経営管理研究科教授 ZHA XI YONG CUO 一橋大学経営管理研究科博士課程
太田壘	明治大学商学部専任教授	大規模言語モデルを用いた金融政策の不確実性の計測	115	佐藤正弘 東北大学大学院国際文化研究科准教授
岡本紀明	立教大学経営学部教授	インパクト投資における社会的インパクトの評価・測定に関する理論的・実践的研究	40	
沖本竜義	慶應義塾大学経済学部教授	主要国の金融政策が世界各国への資金フローに与える影響	70	井上智夫 成蹊大学経済学部教授
加藤晋	東京大学社会科学研究所教授	存亡リスクの費用便益分析	45	
角谷快彦	広島大学大学院人間社会科学研究所経済学プログラム教授	投資家の双極割引率が狼狽売り行動に与える影響に関する研究	50	Mostafa Saidur Rahim Khan 広島大学人間社会科学研究所経済学プログラム研究員 Aliyu Ali Bawalle 広島大学人間社会科学研究所経済学プログラム博士後期課程 鍋島萌花 広島大学人間社会科学研究所経済学プログラム博士前期課程 倉本唯 広島大学人間社会科学研究所経済学プログラム博士前期課程
釜賀浩平	上智大学経済学部教授	環境評価と持続可能性を考慮した社会的割引率の分析	50	
菊池樹	東京大学経済学研究科科学術専門職員	デジタルファイナンスにおける量子暗号化技術の影響度評価、及び、暗号資産XRPにおける量子アルゴリズムの試験的導入と量子耐性に関する効果検証	50	
菊地朋生	早稲田大学アジア太平洋研究科教授	Financial Repression, Capital Controls and Economic Transformation in China (中国における金融抑圧、資本規制と経済変革)	75	LI Cunhao 早稲田大学アジア太平洋研究科博士後期課程

研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
木村遥介	東京科学大学工学院准教授	ベンチャー企業の成長と財務パフォーマンスに与える銀行系VCと銀行の役割の実証研究	95	井上光太郎 東京科学大学工学院教授
黒川義教	筑波大学人文社会系准教授	製造業の付加価値と輸出に関するパズルとグローバル・バリューチェーン	75	Zhe Chen University of International Business and Economics, School of International Trade and Economics, Associate Professor
佐々木啓	和歌山大学観光学部助教	財政・経済政策を通じたオーバーツーリズムの抑制に関する研究	40	
下田知行	立教大学経済学部特任教授	銀行の企業価値評価とプルーデンス政策上の含意	50	
實多康弘	南山大学経済学部教授	外部性のある混合寡占市場における最適な民営化政策	75	濱田弘潤 新潟大学経済科学部教授
丹波靖博	西南学院大学経済学部教授	日本の地方債市場における機械学習モデルと XAI 技術を用いた実証研究	58	原口健太郎 西南学院大学商学部准教授 大石桂一 九州大学経済学部教授
辻山仁志	イギリス・サリー大学School of Social Sciences Senior Lecturer	最適所得課税のための実践的な数値解析とその理論的背景	115	Jonathan Heathcote アメリカ・ミネソタ大学 経済学部 Adjunct Professor
寺西勇生	慶應義塾大学商学部教授	日米のゼロ金利政策についての予測と政策評価	65	
照井敬生	西安交通リヴァプール大学映画芸術学部准教授	芸術文化活動におけるクラウドファンディングを用いた資金調達	50	
中村亮介	筑波大学ビジネスサイエンス系准教授	日本の融資機関に対するヒアリング調査 - 融資先企業情報の取得・活用に注目して -	90	河内山拓磨 一橋大学大学院経営管理研究科准教授
新関剛史	千葉大学大学院社会科学研究院教授	マクロ経済に関する家計の主観的なモデルに関する研究	40	
濱口喜広	京都先端科学大学経済経営学部経済学科専任講師	サステイナブル・ファイナンスを通じた持続可能な発展に関する理論的分析と実証的含意	65	
MONTGOMERY HEATHER	国際基督教大学教養学部経済経営部門教授	世界金融危機後の日本における外国為替介入の要因とは？	90	GUYOT OPALE 国際基督教大学教養学部 経済経営部門 博士後期課程
矢作健	成蹊大学経済学部現代経済学科専任講師	金融犯罪の取り締まりに関する経済学的分析	70	
山口景子	名古屋大学大学院経済学研究科准教授	キャッシュレス決済の普及が退職後の消費行動と資産運用に与える影響を実証的研究	100	高橋聡 関東学院大学理工学部准教授
山口智弘	東京国際大学データサイエンス教育研究所教授	無形資産と信用リスクの関係性	50	
山崎潤一	京都大学大学院経済学研究科准教授	明治維新を事例とした政治体制の変化と経済活動の空間分布との関係について	110	久保昌弘 クレルモン・オーベルニュ大学 CERDI ポストドクター 三浦憲 京都大学大学院農学研究科 生物資源経済学専攻准教授

研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
李立栄	亜細亜大学都市創造学部、大学院アジア・国際経営戦略研究科（兼任）教授	中国のシャドバンキングおよび住宅市場に関するマクロ経済分析	75	池田晃彦 京都産業大学経済学部准教授
劉慶豊	法政大学理工学部経営システム工学科教授	信用リスク予測のためのデータセットの異質性を考慮したアダプティブ連合学習の開発	45	

② 法律分野〔6件：415万円〕

研究者名	申込時所属	研究テーマ	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
久保田隆	早稲田大学法学学術院教授	生成AIと金融安定化・消費者リスク：プロシクリカリティやデータ・バイアス抑制のための国際枠組みの構築	75	
坂口甲	大阪公立大学大学院法学研究科教授	多数債権者の債権関係に関する基礎的考察—ドイツ法における共同口座を手がかりとして—	90	
澤田眞治	防衛大学校総合教育学群教授	メルコスールにおける紛争解決制度の研究：地域的仲裁裁判を中心に	70	
白石幸輔	名古屋商科大学経済学部准教授	標準必須特許の共同ライセンス交渉の独占禁止法上の評価について	55	
平山賢太郎	筑波大学ビジネスサイエンス系准教授	金融業界における独禁法カルテル・コンプライアンス体制構築のあり方	40	
鶴田えみ	東京大学大学院法学政治学研究科 寄付講座「トランスナショナルロー」特任助教	デジタル人民元を巡る社会と法	85	

(2) 研究成果の刊行に対する助成〔3件：335万円〕

① 経済分野〔2件：235万円〕

研究者名	申込時所属	書籍名	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
植原行洋	京都産業大学国際関係学部教授	『EUの通商戦略と中小企業振興策の戦略的互惠関係～EU経済 安定成長の処方箋～』	115	
藤木秀明	日本大学理工学部一般教育教室助教	『指定金融機関の未来』	120	

② 法律分野〔1件：100万円〕

研究者名	申込時所属	書籍名	助成金額	共同研究者名・申込時所属（順不同）
中筋智規	同志社大学法学部助教	『株式会社の資本制度の研究』	100	

以上